

長野大学

長野大学キャンパスニュース
Campus News
vol.123

Fits You!
NAGADAI

一人ひとりが、創造力だ。



CONTENTS

【SPECIAL FEATURE 特集】

長野大学がめざす未来
新入生インタビュー

【REGULAR CONTENTS】

地域 × 研究 (長野大学 研究紹介)



地域の「地(知)の拠点」として 急速な社会の変化に 先んじた学びを射止める

2023年4月に長野大学学長に就任した小林淳一と申します。長野県上田市出身で、日立製作所にて約30年間製品の研究開発を行い、その後秋田県立大学に教員・学長などの立場で16年間籍を置きました。長年外の世界を見てきて故郷に帰り、長野大学と地域社会の未来のために自分自身に何ができるか、考えながら走り出しているところです。

長野大学は上田市を設置者とする公立大学です。上田市を中心とした地域社会の「地(知)の拠点」をめざし、地域の持続的発展に貢献することを使命としています。本学は、社会福祉学部・環境ツーリズム学部・企業情報学部の3つの学部と、大学院に総合福祉学研究所を置いています。今後、特色ある学びの場はそのままいかし、変化の速い時代に先んじて対応すべく理工系学部の新設や既存学部の再編を進めていきます。

この春、新入生向けの特別講義を行いました。「自分の夢や目標」「大学で何を学ぶべきか?」を考える課題を出したところ、たくさん書き込んだレポートを多くの学生が提出してくれて、本学には意欲的な学生が揃っていることを実感しました。高いポテンシャルを持ち、学びへの意欲が高い学生たちをどのように伸ばしていくかが本学の使命であると考えます。最も大切なのは、自分自身が「これだ」と感じられる興味を見つけ、それを自分自身の核とすることです。長野大学では、一生の宝になる興味の種をたくさん用意していますので、意志ある学生のみなさんの入学を心から歓迎します。

長野大学 学長 **小林淳一**

profile

東北大学大学院卒業後、(株)日立製作所に入社し、ガスタービン・新幹線車両・半導体製造装置等の研究開発をはじめ、研究企画・ソリューションビジネス等に携わった。2007年に秋田県立大学システム科学技術学部教授に就任し、バイオリファイナリーをテーマに研究を行ってきた。さらに同大の理事長兼学長としては、内閣府の「地方創生推進交付金」、国立研究開発法人科学技術振興機構「共創の場形成支援プログラム」の採択に注力した。こうした経験・実績から、2023年4月、長野大学学長に就任した。



これからの地域協働に必要なのは 「やってみよう」と考えられるマインド

この30年ほどで、社会のありかたの変化にともない、求められる能力は大きく変わりました。今は「課題発見・問題解決」が求められています。そのために必要なのは「実行力」と「可視化できる価値」「コミュニケーション力」だと私は考えています。実行力は、有言実行で最後までやりきる力です。「実現するにはどうしたらいいか?」を考え、人に頼ったり力を貸してもらったりできる受援力も含まれます。可視化できる価値は、他人とちがう自分の「売り」を持つことです。そして、コミュニケーション力は他人に関心を持つことから始まります。

私がメーカーで研究者として働いていた時、できない理由を並べるタイプと、「まずはやってみよう。うまくいかなかったら途中で考えよう」と考えるタイプがいました。後者は「何とかなるかも」という適正な自信があり、困った時に頼れる「術(すべ)」を知っています。社会に出てからそうなるためには、「小さな成功体験を積み、達成したら自分自身を認めること」が重要です。本学では、地域に出て行って課題を発見し、解決するフィールドワークも盛んです。その営みが「実現するにはどうしたらいいか?」というマインドを育てていきます。

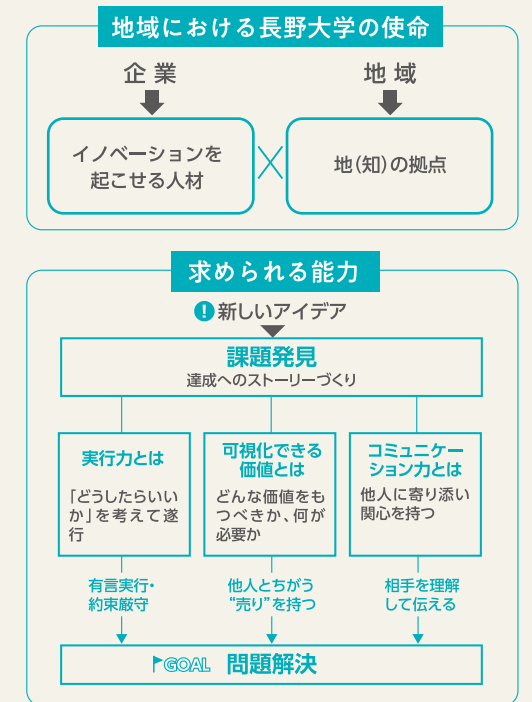
長野大学が育てたいこれからの理工系人材

上田市は製造業が多く、ものづくりを中心とした産業界への貢献が本学の課題としてあります。そこで2026年に本学初の理工系学部を新設するため、実現に向けて計画を進めています。

本学では、さまざまな分野で困り事を抱えている現場で、情報を扱う技術を使って課題解決できる人材を育てたいと考えています。アナログな作業をデジタル化して便利にするIT化ではなく、ITによって組織やビジネスの仕組みそのものを変革する、本来の意味でのDX(デジタル・トランスフォーメーション)ができる人材です。では、今はまだ気づいていないそのようなニーズが地域にあるのか?私は確実にあり、これから掘り起こされていく段階だと思っています。そのために、本学が重視している地域協働型教育が役立つでしょう。

自らの価値を高め、自らをつよくなる

大学のカリキュラムには教養教育と専門教育があります。専門教育の土台となり、思考の幅を広げるために不可欠な教養教育も、さらに充実させていきたいと考えています。本学の個性豊かな3学部で、個々の学生の興味を掛け合わせることで、自らの価値を高めることができます。技術や強みをひとつでもふたつでももって自らをつよくなるよう、ぜひ学びを深めてください。



2026年開設予定の理工系学部新棟(イメージ図)

NEW STUDENTS INTERVIEW 新入生 インタビュー

長野大学には、さまざまな思い・興味・関心をもった学生が全国から集まり、学生生活を送っています。今年度は361名(社会福祉学部153名・環境ツーリズム学部104名・企業情報学部104名)が入学し、授業やサークル活動など新しい場所でのスタートを切りました。

そのなかから9名の新入生に、入学を決めた理由や受験で力を入れたこと、これからの目標を聞きました。



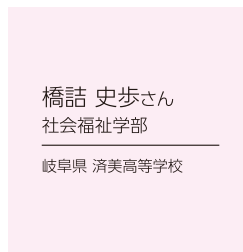
社会福祉学部



村田 陽佳さん
社会福祉学部
長野県 上田西高等学校

心理学の知識を持った警察官をめざして

小学生の時に怪我をした恐怖心から心理学に興味をもちました。同時に、生まれ育った地域を公務員になって支えたいという思いがあり、家族や高校の先生に相談したところ、警察職員として犯罪被害者の心理カウンセリングに従事している方からお話を聞く機会を得ました。この時、警察の職員が心理学の知識をもっていることの重要性やその活用の現状を聞いて、心理学の知識をもった警察官をめざしたいと思い、地元の長野大学への進学しました。大学では心理学を学んで、認定心理士の資格取得を目標にしています。将来は警察官になって、地域の人が安心して暮らせる社会づくりに貢献したいです。



橋詰 史歩さん
社会福祉学部
岐阜県 済美高等学校



大学見学で具体的なイメージがつかめた

中学生の時に出会った理学療法士の方をきっかけに、高校で福祉を学びました。福祉系大学への進学を希望し先生に相談したところ、長野大学を勧められて大学見学に行ったことで「この大学を受験しよう」と決めました。総合型選抜の受験に向けて小論文対策と日々の成績を意識し、特に小論文は、短時間で書けるようになるまで繰り返し練習をしました。大学では興味のある心理学を学びながら、社会福祉士と精神保健福祉士の資格取得をめざしています。将来は、悩みを抱える人がその人らしく生活できるように支援し、信頼されるソーシャルワーカーになりたいです。



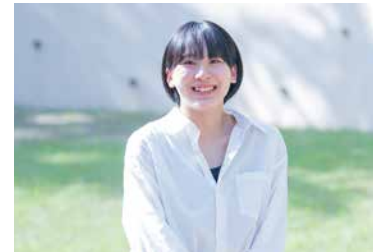
村上 柚葉さん
社会福祉学部
静岡県立浜松湖東高等学校

生活に困難を抱えている人を支援したい

中学生の時の職場体験で高齢者施設に行ったことから介護に興味をもちました。高校生の時には地域の子どもへの学習支援・居場所づくりの活動を実際に立ち上げた経験を通して、直接関わって初めてわかることが多いと感じ、社会福祉を幅広く学びたいと思うようになりました。長野大学はさまざまな考え方の人と関わることが、学びだけでなくサークルや『夢チャレンジ制度』など自分のやりたいことができた時に行動に移せる環境が魅力だと思います。将来は社会福祉士の資格を取得して、福祉の専門家として生活に困難を抱えている方の支援に取り組みたいです。

※夢チャレンジ制度…学生のオリジナルティに富んだ企画の実現を、資金的にバックアップする長野大学独自の制度

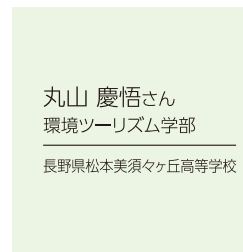
環境ツーリズム学部



菊池 菜那さん
環境ツーリズム学部
愛媛県立八幡浜高等学校

まちづくりの面白さを知って夢を追いかける

私の故郷は、愛媛県西宇和郡伊方町です。高齢化が進む地元を、住みやすく訪れたい場所にしたという夢があります。進路に迷っていた高校3年生の時、観光資源を使って地域を元気にするプロジェクトを作る『学生地域デザイナー2022』に参加して、地域づくりの面白さを知りました。学校推薦型選抜を受験したので、国語に力を入れて勉強し、長野大学のことをたくさん調べて試験に臨みました。大学では、上田市の別所温泉までフィールドワークに出かけたり、田植えを体験したりとても楽しく学んでいます。今後は観光・まちづくりの専門ゼミでまちづくりを学びたいです。



丸山 慶悟さん
環境ツーリズム学部
長野県松本美須ヶ丘高等学校



過疎地になった地元を活性化できるように

私が生まれ育った地域は、過疎地域指定を受けるほど人口減少と高齢化が進んでいます。そのような現状から地域活性化について学びたいと思い、フィールドワークを通じた学びが盛んで、地域と密接に関わりながら学ぶことができる長野大学を選びました。総合型選抜の受験に向け、高校3年生の夏休みは1日2～3問の小論文を書き、ニュースを見て時事問題を知ることもしました。面接でのプレゼンテーションは先生にアドバイスをもらって何度も作り直し、練習を重ねて合格することができました。大学では広く地域づくりを学んで、将来は地元の地域活性化に貢献したいです。



米倉 瑛二さん
環境ツーリズム学部
岩手県立一関第二高等学校

夢は自然環境保全のスペシャリスト

森林火災や野生動物の絶滅危機といったニュースから、自然環境保全に関心を寄せていました。大学への進学を考えたのは高校2年生の時です。全国の環境系学部を探して、長野大学の受験を決めました。学校推薦型選抜を受験したため国語の対策を重点的にしながら、同時に一般選抜の受験も視野に入れて勉強を進めていました。大学では、環境教育などを専門にしているゼミに所属して、研究をしていきたいです。在学中にビオトープ管理士2級の取得をめざして、卒業後は出身地である東北で環境アセスメントや自然調査に関する職業に就きたいです。

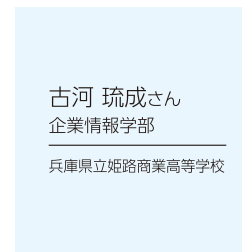
企業情報学部



杉林 涼太郎さん
企業情報学部
富山県立滑川高等学校

地域企業と協力して課題解決するのが楽しみ

高校生の時に経営に興味をもち、地域経済の活性化を学びたいことがあったことから長野大学を選びました。受験対策は、国語の評論文と面接の練習に力を入れ、自分の考えを明確にするためにニュースを見ることも心がけていました。現在、1年次に履修する課題探究ゼミナールで経営分野の課題に取り組んでいますが、難しさと楽しさが混在し、とても刺激的です。故郷を離れて友だちができるのが不安でしたが、話しかけるとフレンドリーに接してくれる人ばかりで安心しました。将来は地元である富山県に戻って、大学で学んだことがいかせる公務員や銀行員になりたいです。



古河 琉成さん
企業情報学部
兵庫県立姫路商業高等学校



情報と経営を学びメタバースの世界へ

高校では商業科で経営を学んでいましたが、情報系の学科もある高校だったので、同級生から話を聞くうちに、情報と経営の両方を学びたいと思うようになりました。大学を調べるなかで知った長野大学の3DCG(3次元コンピュータグラフィックス)を使った小諸城復元プロジェクトに魅力を感じて、受験を決めました。情報分野ではプログラミング言語、経営分野ではオペレーションズ・マネジメントに興味をもっています。また、VR技術を使ったアプリ開発にも携わりたいです。メタバースなどの新しい可能性が広がる領域で「つくる人」になれるよう頑張ります。



丸山 奈々羽さん
企業情報学部
長野県上田染谷丘高等学校

大好きな「書くこと」を広報にいかしたい

私は文章を書くことが好きです。高校生の時にさまざまな仕事を調べて、書いて表現することがいかにそうだと、広報の仕事に興味をもちました。入試に向けては、自分の目標や将来の夢・大学でやってみたいことなどを考えてノートに書き、自分を見つめなおすことに力を入れました。デザイン分野に興味があり、商品のロゴを考えたり、商品の魅力を発信するイベントを企画したりと幅広く学ぶことができそうで、とても楽しみです。長野大学は以前から知る地元の大学ですが、初めて話す人ばかりで、新しい出会いがたくさんあります。大学でさまざまな経験を重ねて、学びを深めていきたいです。

長野大学 研究紹介 | 地域×研究


長野大学では、長期的展望に立ち地域から世界につながる多様な独創的研究を推進することを大学ビジョンのひとつとして掲げています。
こうしたビジョンの実現に向け、長野大学の教員は、地域を主題とする研究の深化と教育・地域活動への活用を日々実践しています。



外国語学習で
地域の福祉・観光・企業活動の
深化に貢献する

環境ツーリズム学部
青木 萌 准教授

【主な担当科目】
中国語
国際キャリア(中国語)セミナー
海外研修(中国語)



福祉と医療をつなぐ
よりよい多職種連携を求めて

社会福祉学部
藤井 博之 教授

【主な担当科目】
人体の構造と機能及び疾病
リハビリテーション論 等

◆科学的アプローチで中国語を研究する

私は小学生から中学生まで、中国人のコーチに卓球を教わっていました。中学2年生の終わりに1か月の合宿で初めて中国に行ったことがきっかけで、中国語を研究する道に進みました。

研究者としては、中国語の時間体系、特にその中でも進行表現について注目し、文に含まれている複雑な意味を明らかにする研究をしてきました。今は、経験を表わす「过(～したことがある)」について集中的に研究を続けています。使用頻度が高い割に、用法がとても多いため中国語学習者にとってやっかいな存在で、さらに方言の影響も受けるため、研究しがいのあるテーマです。分析するにあたって、論理学や数学の理論をいかした形式意味論の概念を活用しています。現代中国語文法の研究の歴史はまだ浅く、「过」のように未解決の文法現象が数多く残っています。従来の文法研究の枠組みでは解決できない問題が、形式意味論を使うことで科学的に分析できる可能性があり、文系のイメージが強い言語学でも文理横断的な研究になっているのが特徴です。

◆目的に合わせて中国語に親しめるゼミ

私が研究対象としている用例は、中国のテレビドラマや映画、小説から採集することが多いです。テレビドラマを資料に使う研究者は多くはありませんが、生きた用例という点ではもっとも鮮明に反映していると感じます。このように話すと、流行語の研究と捉えられることが多いのですが、昔からある取り上げられていない用例を掘り起こして研究していることがポイントです。

青木准教授
からの
メッセージ

中国語を扱うスキルは今後、ますます需要が増えるでしょう。長野大学は、ゼミだけでなく4年間を通じて継続して中国語を学べるようになっており、環境や観光に関する研究にもいかせるような指導を心がけています。中国語力が高まることで、中国の環境や観光に関するさまざまな情報を的確に得られるので、研究の幅が広がります。将来的には、中国の大学生と専門分野に関する交流を持ちたいと考えています。中国語を深く広く学べる環境をぜひ活用してください。

私のゼミ「国際キャリア(中国語)ゼミナール」では、約20名の1～4年生が「検定対策」「動画制作」「中国語教育」の3チームに分かれて中国語を学んでいます。中国語を使って上田市の活性化に貢献することを目標のひとつとしており、今年度は中国語で上田市の魅力を紹介する動画を作っているところです。中国で出版されている絵本を翻訳し、園児・児童向けの「読み聞かせ会」を開催するアイデアも温めています。

◆専門にいかせる充実した中国語教育が強み

外国語を学ぶモチベーション維持とレベルアップには、検定が欠かせません。世界共通でより実践的な中国語検定「HSK」の受験をすすめています。

HSKは、上級レベルでは私が研究している内容が生きてくるほどアカデミックになります。また、中国の大学との交換留学や海外研修といった取り組みも行い、個々の学生のニーズに合わせて柔軟に対応しています。

学生の中国語力アップが、何よりも地域貢献になると考えています。長野大学の3学部はいずれも、中国語を学ぶことでさらなるスキルアップが望めます。たとえば中国は今、高齢化によって介護問題が注目されています。介護分野において先行している日本での取り組みや蓄積が、中国ではこれからおおいに役立つでしょう。卒業論文を書く際も、中国語の文献を読むことができると内容に広がりが出てきます。専門教育をより飛躍させるための中国語学習を、さまざまなかたちでサポートをしていきたいと思っています。

◆立場の違う専門職が対人援助の場で連携するには

私は、医師であり社会福祉学の専門家でもあるという、他にあまりない道を行ってきました。医療も福祉も対人援助という点では同じですが、実はまったく違う文脈で動いています。たとえば福祉の支援対象の方が病気になった時、福祉と医療の役割を切り分けなければならないことがあり、両者をどのように橋渡しするかということを長年研究してきました。

対人援助は、ひとつの案件に対して介護・医療・福祉・教育・保育といった複数の要素が、解決しなければならない課題として存在しています。よって、ご本人やご家族などの利用者、複数の専門職・非専門職が対等な関係で関わる「多職種連携・協働」が必要とされていますが、それぞれの立場もあり大事にしていることも異なるため、簡単なことではありません。今は、多職種連携において個人の能力だけでは不十分と考え、一緒に働く人々が職場をこえてどのような「場」を作っているのかということに着目した連携状況の研究を進めています。

◆専門職連携教育で学生時代から協働を学ぶ

これまで、長野・埼玉・愛知などさまざまな場所で医師として働きながら、社会福祉学を教えてきました。そのネットワークをいかした他大学とのIPE(Interprofessional Education/専門職連携教育)の機会を設けています。長野・東京・埼玉・兵庫の国公立・私立大学の保健・医療・福祉系学部と連携し、多職種と連携する重要性を学生に肌で感じてもらっています。

藤井教授
からの
メッセージ

社会の変化は急速で、自分らしく生き抜く力を身につけるには、専門知識を学び資格を取るだけでは足りません。疑うことを大切にしてください。私が授業で教えることが間違っている可能性も、定説がくつがえる可能性もあります。そして、他者と連帯して協働することは、ひとりではできないことを成し遂げるために不可欠で、尽きない面白さがあります。さまざまな立場の人が何を大事にしているかに想像力を巡らせながら、答えの出ない問題をともに考え、これからの時代を生き抜いてください。

また、3・4年次の専門ゼミナールでは、学術文献だけでなく時事問題の報道も読み込み、フィールドワークを経て卒業論文にまとめます。この数年、フィールドワークが難しい時期は、長野県大町市の社会福祉法人に話を聞きに行ったり、千葉県で子ども虐待の問題に取り組んでいる小児科の医師にオンラインで話を聞いたりしてきました。今年度は、久しぶりに開催された長野県佐久市にある佐久総合病院の病院祭にゼミ生と訪れ、地域医療について学びを深めました。

◆医療と福祉は包含関係にある

多職種が参加する話し合いの場で使われる「共通用語」の研究にも取り組んでいます。ひとつの用語が職種によって異なる意味で使われる場合があり、対話をスムーズにするためにもこの研究は欠かせません。

地元の上田市では、上田市社会福祉協議会や5つの地域包括支援センターとともに地域づくりの研修会企画に参加することで地域研究を深め、学生へのフィードバックも行っています。

どの分野においても専門職は専門に特化しやすく、対人援助も例外ではありません。福祉は利用者を受け止める大きな器であり、医療はその中に入る包含関係にあると考えています。医療と福祉の双方が歩み寄ることで、よりよい対人支援につながります。学生には、スペシャリストとして働きながら地域社会の課題に向き合い、さまざまな個性が集まる多職種の現場をファシリテートして有効な支援を構築する力を発揮できるよう、学びを深めてほしいです。

Pick up! Campus Life

熊谷ゼミナール 歴史景観小諸チーム

環境ツーリズム学部4年

右:佐藤 芽生さん
(福島県立福島南高等学校出身)

左:川久保 清美さん
(長野県小諸高等学校出身)



熊谷圭介教授のゼミナールは、「まちづくり」を広く研究しています。2～4年生がいくつかのチームに分かれていて、私たちは長野県小諸市を拠点に歴史的な景観をいかしたまちづくりを学んでいます。昨年までは、小諸市で毎年9月に開催されるイベント「信州小諸・城下町フェスタ」で「こもろっ子王国」を手がけ、100人以上の子どもたちに街並みに関するクイズラリーを楽しんでもらいました。夏休みのフィールドワーク合宿では、県外の重要伝統的建造物群保存地区を見学します。

長野大学は、私たちの「やりたい」を実現することができます。熊谷ゼミでも学生が学びたい内容を自主的に申告し、やりたいことをチームで協力しながら実現します。歴史景観の保護の方法や課題を、先行研究をもとに自分たちの視点で考え、時には現地の人のお話を聞きに行くこともあります。今年度は、小諸に限らず広い範囲で活動する予定です。



2023 長野大学 オープンキャンパス

7/15[±] 8/19[±]

●受付開始/12:00～ ●共通プログラム開始/13:00～

模擬
授業

入試概要
説明

学問分野
展示

進学等
個別相談

キャンパス
ツアー

12:15 12:45		キャンパス ツアー①
13:00 13:30	学部説明 社会福祉学部 環境ツーリズム学部 企業情報学部	
13:50 14:20	模擬授業① 社会福祉学部 環境ツーリズム学部 企業情報学部	入試概要 説明 キャンパス ツアー②
14:40 15:10	模擬授業② 社会福祉学部 環境ツーリズム学部 企業情報学部	キャンパス ツアー③
15:30 16:10	学生企画 社会福祉学部 環境ツーリズム学部 企業情報学部	入試概要 説明
終日実施 12:00～ 16:30	3学部 学問分野展示	進学等個別相談 入試・資格取得・学生生活などの疑問や質問に、 担当職員がお答えします。

事前予約登録制

参加には**事前予約登録**が必要です。

※各プログラムには**定員があります**。

長野大学のホームページから申し込みをしてください。▶▶▶



オンラインでの参加は夢ナビライブへ

7/15[±] Yumenavi LIVE 2023

第14回 夢ナビライブ

参加無料
高校生・受験生
保護者対象

予約制

●模擬授業 ●大学概要説明

発行 2023年6月

〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1
(教育グループ 広報入試担当)
TEL : 0268-39-0020
mail : kouhou@nagano.ac.jp
ホームページ : www.nagano.ac.jp



Fits You! NAGADAI

長野大学は「あなたに」フィットする大学です。
めざす目標、深めたい学び、大切な出会いなど、「あなた」と、
あなたの望む「未来」を引き合わせます。一人ひとりが創造力
となって、自分らしく未来を生きていく。そのきっかけが長野
大学であってほしい願いを込めたキャッチコピーです。